

社会福祉法人まりも会

清瀬療護園

広報紙

ほのぼの通信

第82号

〒204-0023 東京都

清瀬市竹丘3-1-72

清瀬療護園

TEL: 042-493-3235

Fax: 042-493-3234

発行

地域福祉委員会

(広報部門)

障害者相談支援センター開設10年目を迎えて

清瀬療護園 障害者相談支援センター相談員 東郷 基樹

いつも当事業所へのご理解とご協力を賜わりまして、厚く御礼申し上げます。

清瀬療護園障害者相談支援センターは、この4月で、開設より10年目を迎える事ができました。

建て替え前の旧清瀬療護園の窓際の一角にパーテーションを立て、当初は、清瀬療護園の居住者を中心に、24名の利用者さんから始まった事業



東郷相談員(右)と
上谷相談員(左)

所です。

その後の建て替えに伴う移設で現在の相談支援室となり、現在では、清瀬療護園・カーサマリモ・清瀬言葉園といった法人内だけでなく、地域にお住まいの利用者さんも併せて114名の利用者さんがいらついています。

事業としては市内の事業所に先駆けて、平成30年9月より地域一般相談支援(地域移行・地域定着支援)の指定を取得し、令和4年4月より地域拠点事業所の指定を受けました。相談支援の制度自体も令和6年4月の報酬改定において、利用者さんの意向の確認という意味でも、更なる役割を求められるようになりました。一方で、法人内の交流

として、小金井市自立生活支援センター(公立委託:基幹相談)との連携・協力も行なっています。

その道のりは決して順風満帆であったわけではありません。至らぬ点多々あり、皆様にご迷惑をおかけした事もございます。また、新しい出会いもあれば、悲しい別れもありました。

こうして、10年目を迎えられたのも、ひとえにご利用者様・他の事業所・地域及び行政の皆様のご理解やお力添えあつての事です。

引き続き、地域社会における一構成員として社会福祉実践に努めて参りたいと考えております。どうぞ宜しくお願い致します。

バレンタインデー企画

2月14日(水)

バレンタインデーの日、流れ落ちるチョコレイトにバナナや丸カステラ、いちごなどを付けて食べる企画が、ユニットと通所でありました。ご利用者様からも「楽しかった」「美味しかった」「またこの企画やってもらいたいな」等の喜びの声を頂きました。水みたいに流れているチョコレイトを始めて見る方もたくさんいました。



プロ野球観戦(通所)

3月13日(水)

地域支援課(通所)のご利用者様と職員計6人で、ベルーナドーム(西武球場)に行き、西武ライオンズ対中日ドラゴンズのオープン戦を観戦してきました。「内野エリア車椅子席(3塁側)」で、時折、ドームの脇から吹き込む狭山丘陵の冷たい風に、みんなでござえながらも、グラウンド上で戦っているプロ野球選手の熱い一挙一動に声援を送りました。10年ぶりに野球場に来て試合を観たご利用者



様は「本当に生で野球が観れてよかった」と喜んでいました。

2月21日(水)

すずとも演奏会

ボーカルとギターでJ-POP(歌謡曲)を披露

杉本支援員(ボーカル)と、その友人のすずきさん(ギター)による演奏会が、1階活動室でありました。「マリゴールド」「あいみょん」、「糸」(中島みゆき)、「卒業」(松任谷由実)、「空も飛べるはず」(スピッツ)などのJ-POP(歌謡曲)を10曲程度、熱唱(演奏)しました。

阿部支援員による軽快な司会では盛り上がりました。

演奏会を鑑賞したご利用者様からは「プロの歌手ユニットみたいでとても上手でした」「あいみょんとユージンと福山雅治とスピッツとかの知っている曲がたくさんあって楽しかった」「私も夢中になってリズムにのって歌ったりしました」等の声をいただきました。



おなじみの歌を熱唱する杉本支援員(左)と、すずきさん(右)



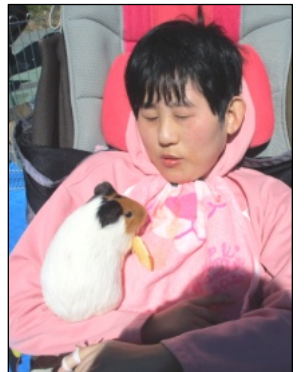
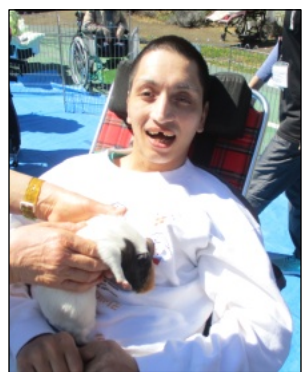
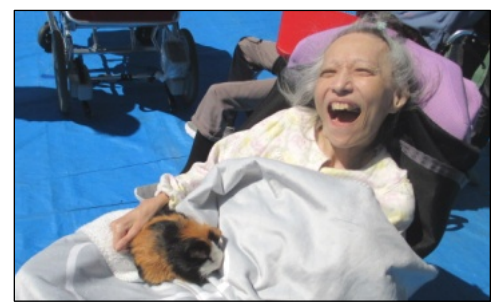
3月27日(水)

ふれあい動物園

春の陽気の中、動物たちとふれあ

中庭にポニー、うさぎ、にわとり、ひよこなどの動物がやって来ました。前日と翌日は雨だったにもかかわらず、当日は晴天に恵まれ、ご利用者様たちはポニーやウサギに餌をやったり、ウサギやヒヨコを膝に乗せたりして、動物たちとのふれあいの時間を楽しみました。

近くの保育園の園児たちや、隣にある清瀬喜望園のご利用者様たちも来園し、皆さん喜んでいました。





@KRS_SEKATSUKAIGO

清瀬療護園 通所(生活介護) インスタやってます!

清瀬療護園通所(生活介護)では、インスタグラムをやっています。日々の活動を載せていますので、ぜひご覧ください。上記のQRコードを読み込み、フォローをよろしくおねがいします。



いくの日記

東日本大震災のこと ふれあい動物園のこと

【地震の事】

3月11日で東日本大震災が起きて13年が経ちました。宮城県、福島県に住んでる人達、まだまだ3月11日のことは忘れないですね。

13年前、私は建て替え前の古い清瀬療護園の建物内に居ました。

私はエレベーターの前について、大きな地震が急に起きて、すごく揺れて、私はすごく怖かったです。地震のあと、私の部屋に行ったら、部屋の床じゅうに、棚の上にあった物がたくさん落ち

ていて人が入れないくらいになっていました。もし部屋にいたら物が頭にたたくさん落ちてきて当たって、大ケガをしていたと思います。救急車で病院に運ばれていたと思います。もうあんなに大きな地震は来ないでほしいです。福島の人達ももう来てほしくないと思っています。

【ふれあい動物園のこと】

3月27日(水)にあの大人気企画の第2回目、可愛い動物とのふれあい企画がありました。



今年モルモット、あひる、うさぎ、モット、あひる、うさぎ、にわとり、ひよこ、そして今年ポニーが来てくれました。

ひよこちゃんがとてもかわいくて二年前にふれあい動物園に来た時に「ふれあいにきて、私とも逢いたかったよ」と話しかけたら、膝にフンをしてしまいました。キヤー! たぶん、ひよこちゃんは「去年だっこしてもらったおねえちゃんだ」とうれしくなってフンをしたんだと思います。

ポニーは、触りたかったし写真も一緒に撮りたかったけど、希望園の利用者が、いっぱいいて混んでたので触れられなかったのが残念でした。でもポニーも可愛いかったです。天気が暖かくて楽しかった。また来年も可愛い動物たちが来て欲しいです。

(清瀬療護園 利用者)

まさお日記



またアヒルに会えたよ

「クワツ、クワツ、クワツ！」

3月27日(水)、昨年に続いて、今年もかわい動物たちがボクのところに来てくれた。アヒルやひよこ、うさぎ、モルモット、久々の再会だ。テレビの生命保険のCMでアヒルが出て「よく考えてよう、お金は大事だよ」と流れている。CMに出ているアヒルは僕のお気に入り。アヒル大好き。今回のふれあい動物園でもアヒルが「クワツ、クワツ、クワツ」としてボクのところへ近寄ってきた。前日の荒天が嘘のように晴れ上がり、アヒルたちも機嫌が良さそうだった。去年の動物園ではポニーはいなかったが、今年はポニーも来てくれた。

近くの保育園の園児たちが来てみんな少しこわがりながらも嬉しそうにポニーに乗っていた。ポニーは園児を乗せながら、広場の脇の草をゆっくりに歩いていた。実はボクもポニーに乗りたかった。でも体重が30kg未満の人しか乗れないと聞いてがっかりした。この重量級の電動車椅子のままでは、どうも乗れないし、ボクの体重も30kg以上ある。ポニーに乗ってかっ歩きたら気持ちいいだろうな。これからは定期的に動物たちとふれあいができることを望んでいます。

(清瀬療護園 利用者)

防災訓練

地震と火災を想定した避難訓練

震度6の地震と、火災を想定した防災訓練が2月28日にありました。ご利用者様及び職員は出火場所から遠ざかる避難ルートを通り、中庭まで避難しました。ご利用者様、地域の方も含めて30名以上の方が参加されました。今後も防災委員会が中心となって防災訓練や防災対策をしっかりと実施していきたいと思えます。



中庭に無事に避難できました！

付近散策（散歩）

天気の良い日には、各ユニットで少人数で近くに散歩に行っています。



勝哉さんのこと

清瀬療護園 作業療法士 成田 恵子

前々回と前回の『ほのぼの通信』でご紹介がありました渡邊勝哉さんの記事ですが、今回は週一回実施している「運動」の中で勝哉さんが楽しみにしていることをご紹介したいと思います。「運動」は、2本の平行棒の中で平行棒の手すりをしっかり掴み、2往復歩きます。万が一転倒しないように職員が腰を後ろから介助しています。平行棒内で介助を受けての歩行が終わった後、お楽しみが待っています。

それは、パソコンで好きな電車の名前を打ち込むことです。特に新幹線の名前が多く、東北新幹線E5系やE7系はやぶさや、E3系こまち、上越新幹線MAXとき等ですが、既に廃止になっている新幹線の名前も打ち込まれ、電車に関する様々な知識をお持ちだなあと実感します。他、JR東日本の在来線（特急電車しおさいや中央線）の名

前を打ち込むこともあります。打ち込んだ文章の印刷手順も理解されています。印刷された紙をお渡しすると、満面の笑みを浮かべます。勝哉さんは本当に電車が大好きであることが伝わってきます。

勝哉さんは、日中の時間帯は座っている姿勢が多いです。運動時の平行棒内で介助を受けながら歩く様子を見た施設職員から「格好良いね」と褒められることもあり嬉しそうでした。

ですが、趣味を持つことや好きなことをする時間を持つことが、障害の有無に係わらず人にとって輝けることであると勝哉さんと一緒に居て実感します。

今年度も昨年度同様に、体調崩すことなく電車に乗るプラスアルファの体験ができますように。



「もう一往復！」
歩行訓練に励む勝哉さん

新潟MAXカラーとき連結
MAXカラーときですね、
jr東北北陸新幹線E5系は
やぶさはやてやまびこなすの

勝哉さんがパソコンで
打ち込んだ文章